

事業所名: グループホーム南十字星

作成日: 令和 5 年 4 月 13 日

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。					
優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	14	原点に立ち返り、『丁寧さ』『思いやり』『気づき・気遣い』の必要性と大切さを考え直すことを目的に、アンケートやチェック表を用いて自分自身を振り返ると共に、各種研修や会議を再開していく予定である。	『人として』が合い言葉になるように、ご利用者それぞれの喜びや嬉しいを大切にできるようになる。自身の言動を振り返るだけでなく、スタッフ間で注意し合える環境を作ることで、ご利用者が安心して生活の実現に繋げる。	『人権の尊重』について社内研修を行い、既存の委員会を活かして実践の振り返りで『ご利用者にとって』を大切にスタッフ間で意見し合える環境を作る。	12 ヶ月
2	28	①今後はセンター方式やひもときシートを活用し、ご利用者の思いや願いの分析に取り組む予定である。 ②アセスメント用紙の見直しを始めており、今後も各活動のできそうな事、要望、一部介助の詳細な内容と介助理由、ケア内容等を増やしていく予定である。	本人が今以上に家事等のできる作業を主体的に取り組める環境を作る。また、興味・関心を引き出し「趣味」の実践を増やす等の本人にとって意味のある作業を実践する。	①②ひもときシートとセンター方式の実践を行う。ひもときで得た本人視点の仮説をセンター方式再アセスメント・分析できるように取り組む。 ご利用者との計画・実践・評価を、スタッフ・計画作成者・ご家族と一緒に取り組む。	12 ヶ月
3		③ヒヤリハットや事故発生時に行った原因と対策を、適宜アセスメントと介護計画に反映し、ご本人と家族の話し合いを増やしていく予定である。		③委員会と連携して、インシデントとアクシデントの分析等を事例検討会として実施し、その対策や予防をご家族とも共有できるように話し合いや意見共有を行う。	ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月